

熊本高等専門学校
自己点検評価チェックリスト

令和5年4月

熊本高等専門学校 自己点検評価委員会

序文：熊本高等専門学校 自己点検評価チェックリストについて

このチェックリストは、熊本高等専門学校自己点検評価及び外部評価実施要項（以下「要項」という。）第2条第2号に基づき、令和4年度の実績について、同要項別表に掲げる「評価項目及び評価基準」に基づき、本校が行う教育研究活動等の目的への達成状況及び成果等を勘案した上で、基準ごとに設けた観点に係る現状分析及び整理を行った、本校独自の自己点検評価結果である。

本校においては、前回、平成27年度の実績について自己点検評価を行い、平成28年4月に「自己点検・評価報告書」としてまとめ、本校公式Webサイトにて公表している。

今回の、このチェックリストは、従来の「報告書」のスタイルから、一覧性があり、かつ、本校が設定した基準及び観点到に係る状況を定期的に確認しやすくするため、「チェックリスト」のスタイルに変更したものであり、従来の「自己点検評価報告書」と同等のものと位置付けるものである。

本校では令和5年度に、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構（NIAD-QE）による高等専門学校機関別認証評価（以下「機関別認証評価」という。）を受審する予定である。

要項第2条第2項に基づき、今回、令和4年度の実績について自己点検評価を実施したものであるが、高等専門学校機関別認証評価の準備の過程で、令和4年度実績の根拠となる資料を整理していることから、本チェックリストの観点ごとの実績を示す根拠資料については、機関別認証評価に向けて整理している根拠資料と同期をとるものとする。

目次

基準 1	教育の内部質保証システム	4
基準 2	教育組織及び教員・教育支援者等	8
基準 3	学習環境及び学生支援等	1 2
基準 4	財務基盤及び管理運営	2 0
基準 5	準学士課程の教育課程・教育方法	2 3
基準 6	準学士課程の学生の受入れ	2 6
基準 7	準学士課程の学習・教育の成果	2 7
基準 8	専攻科課程の教育活動の状況	2 8
基準 9	研究活動の状況	3 2
基準 1 0	地域貢献活動等の状況	3 3

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト		基準 1				
基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 1 教育の内部質保証システム						
1-1 教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み（以下「内部質保証システム」という。）が整備され、機能していること。						
1-1-① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
1-1-①(1) (1) 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針を定めているか。						■ 定めている
1-1-①(2) (2) (1)の方針において、自己点検・評価の実施体制（委員会等）を整備しているか。						■ 整備している
1-1-①(3) (3) (1)の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の基準・項目等を設定しているか。						■ 設定している
1-1-② 内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
1-1-②(1) (1) 根拠となるデータや資料等を定期的に収集・蓄積しているか。						■ 収集・蓄積している
1-1-②(2) (2) 自己点検・評価を定期的実施しているか。						■ 実施している
1-1-②(3) (3) (2)の結果を公表しているか。						■ 公表している
1-1-③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
1-1-③(1) (1) 自己点検・評価の実施に際して、次の各者の意見を反映するようになっているか。（複数チェック■可）						<input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 在学生 <input type="checkbox"/> 卒業（修了）時の学生 <input type="checkbox"/> 卒業（修了）から一定年数後の卒業（修了）生 <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> 就職・進学先関係者
1-1-③(2) (2) 自己点検・評価の実施において、聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果等を踏まえて行っているか。（複数チェック■可）						■ 学習環境に関する評価 ■ 学生による授業評価 ■ 学生による教育・学習の達成度に関する評価（進級時等、卒業（修了）前の評価） ■ 学生による満足度評価（進級時等、卒業（修了）前の評価） <input type="checkbox"/> その他 【在学生の意見聴取】
						<input type="checkbox"/> 卒業（修了）時の学生による教育・学習の達成度に関する評価 <input type="checkbox"/> 卒業（修了）時の学生による満足度評価 <input type="checkbox"/> その他 【卒業（修了）時の意見聴取】
						<input type="checkbox"/> 卒業（修了）後の学生による学習成果の効果に関する評価 <input type="checkbox"/> 卒業（修了）後の就職・進学先等による学生の学習成果の効果に関する評価 <input type="checkbox"/> その他 【卒業（修了）後の意見聴取】
						<input type="checkbox"/> 外部有識者の検証 <input type="checkbox"/> 教育活動に関する第三者評価（機関別認証評価、JABEE等。） <input type="checkbox"/> 設置計画履行状況調査 <input type="checkbox"/> その他 【外部評価】
1-1-④ 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
1-1-④(1) (1) 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような体制が整備されているか。						■ 整備されている
1-1-④(2) (2) 前回の機関別認証評価における評価結果について、「改善を要する点」として指摘された事項への対応をしているか。						■ 対応している
1-1-④(3) (3)(2)以外で、実際に、自己点検・評価や第三者評価等の結果に基づいて改善に向けた取組を行っているか。						■ 改善に向けた取組を行っている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準1

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準1 教育の内部質保証システム						
1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。						
1-2-① 準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						
		1-2-①(1)			(1) ガイドライン等を踏まえ、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めているか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> 準学士課程全体として定めている <input checked="" type="checkbox"/> 学科ごとに定めている <input type="checkbox"/> その他
		1-2-①(2)			(2) 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ準学士課程全体、各学科の目的（本評価書IIに記載したもの。）と整合性を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 整合性を有している
		1-2-①(3)			(3)卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の中で、学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 示している
1-2-② 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		1-2-②(1)			(1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を定めているか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> 準学士課程全体として定めている <input checked="" type="checkbox"/> 学科ごとに定めている <input type="checkbox"/> その他
		1-2-②(2)			(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）との整合性を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 整合性を有していない
		1-2-②(3)			(3)教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、どのような内容を含んでいるか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している <input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している <input type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している <input type="checkbox"/> その他
1-2-③ 準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						
		1-2-③(1)			(1)ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を定めているか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 準学士課程全体として定めている <input type="checkbox"/> 学科ごとに定めている <input type="checkbox"/> その他
		1-2-③(2)			(2)入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）は、学校の目的や学科の目的（本評価書IIに記載したもの。）、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 目的・方針等を踏まえて策定している
		1-2-③(3)			(3)入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）には、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 明示している
		1-2-③(4)			(4)入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）には、「求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）」を明示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 明示している
		1-2-③(5)			(5) 受け入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 含まれている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 1

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 1 教育の内部質保証システム						
1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。						
1-2-④ 専攻科課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。 （下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		1-1-④(1)			(1) ガイドライン等を踏まえ、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めているか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> 専攻科課程全体として定めている <input checked="" type="checkbox"/> 専攻ごとに定めている <input type="checkbox"/> その他
		1-1-④(2)			(2) 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が、「何ができるようになるか」に力点を置き、専攻科課程全体、各専攻の目的（本評価書Ⅱに記載したもの）と整合性を有しているか。	■ 整合性を有している
		1-1-④(3)			(3) 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の中で、学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示しているか。	■ 示している
1-2-⑤ 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性をもち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		1-1-⑤(1)			(1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を定めているか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> 専攻科課程全体として定めている <input checked="" type="checkbox"/> 専攻ごとに定めている <input type="checkbox"/> その他
		1-1-⑤(2)			(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）との整合性を有しているか。	■ 整合性を有している
		1-1-⑤(3)			(3) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、どのような内容を含んでいるか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している <input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している <input checked="" type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している <input type="checkbox"/> その他
観点 1-2-⑥ 専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。 （下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		1-2-⑥(1)			(1) ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を定めているか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 専攻科課程全体として定めている <input type="checkbox"/> 専攻ごとに定めている <input type="checkbox"/> その他
		1-1-⑥(2)			(2) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）は、学校の目的や専攻科課程の目的（本評価書Ⅱに記載したもの）、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて策定しているか。	■ 目的・方針等を踏まえて策定している
		1-1-⑥(3)			(3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）には、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。	■ 明示している
		1-1-⑥(4)			(4) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）には、「求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）」を明示しているか。	■ 明示している
		1-1-⑥(5)			(5) 受け入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。	■ 含まれている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 1

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 1 教育の内部質保証システム						
1-3 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。						
		1-3-①		学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）		■ 満たしていると判断する
		1-3-①(1)		(1) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検する体制となっているか。		■ なっている
		1-3-①(2)		(2) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検しているか。		■ 点検し、改定している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 2

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 2 教育組織及び教員・教育支援者等						
2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。						
2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		2-1-①(1)			(1) 学科の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したもの。）及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。	■ 満たしていると判断する ■ 整合性がとれている
2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		2-1-②(1)			(1) 専攻の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したもの。）及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。	■ 満たしていると判断する ■ 整合性がとれている
2-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		2-1-③(1)			(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制を整備しているか。	■ 満たしていると判断する ■ 整備している
		2-1-③(2)			(2) (1)の体制の下、必要な活動を行っているか。	■ 行っている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準2

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準2 教育組織及び教員・教育支援者等						
2-2 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。						
2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		2-2-①(1)			(1) 一般科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。	■ 確保している
		2-2-①(2)			(2) 専門科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。	■ 確保している
		2-2-①(3)			(3) 専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数を法令に従い、確保しているか。	■ 確保している
		2-2-①(4)			(4) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。	■ 担当が適切である
		2-2-①(5)			(5) 適切な教員配置について専門分野以外に配慮していることがあるか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 博士の学位 <input type="checkbox"/> ネイティブスピーカー（担当する言語を母国語とする） <input type="checkbox"/> 技術資格 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験（教育機関以外の民間企業等における勤務経験者等） <input type="checkbox"/> 海外経験 <input type="checkbox"/> その他
2-2-② 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		2-2-②(1)			(1) 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保しているか。	■ 適切に確保している
		2-2-②(2)			(2) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。	■ 担当が適切である
		2-2-②(3)			(3) 適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当しているか。	■ 担当が適切である
2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		2-2-③(1)			(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮しているか。	■ 配慮している
		2-2-③(2)			(2) (1)以外に配慮している措置等はあるか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 教育経歴 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 男女比 <input type="checkbox"/> その他
		2-2-③(3)			(3) 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るために行っている措置等はあるか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> 学位取得に関する支援 <input type="checkbox"/> 任期制の導入 <input type="checkbox"/> 公募制の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 教員表彰制度の導入 <input type="checkbox"/> 企業研修への参加支援 <input checked="" type="checkbox"/> 校長裁量経費等の予算配分 <input type="checkbox"/> ゆとりの時間確保策の導入 <input type="checkbox"/> サバティカル制度の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 他の教育機関との人事交流 <input type="checkbox"/> その他

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準2

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準2 教育組織及び教員・教育支援者等						
2-3 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。						
2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
			2-3-①(1)		(1) 全教員（非常勤教員を除く。）に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行う体制を整備しているか。	■ 満たしていると判断する ■ 整備している
			2-3-①(2)		(2) (1)の体制の下、教員評価を実施しているか。	■ 実施している
			2-3-①(3)		(3) 把握した評価結果を基に、行っている取組はあるか。（複数チェック■可）	■ 給与における措置 ■ 研究費配分における措置 <input type="checkbox"/> 教員組織の見直し ■ 表彰 <input type="checkbox"/> その他
			2-3-①(4)		(4) 非常勤教員に対し教員評価を実施しているか。	■ 実施していない
2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
			2-3-②(1)		(1) 教員（非常勤教員を除く。）の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定めているか。	■ 定めている
			2-3-②(2)		(2) (1)で定められている基準等では、教育上の能力等を確認する仕組みとなっているか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> 模擬授業の実施 ■ 教育歴の確認 ■ 実務経験の確認 <input type="checkbox"/> 海外経験の確認 <input type="checkbox"/> 国際的な活動実績の確認 <input type="checkbox"/> その他
			2-3-②(3)		(3) (1)の基準等に基づき、実際の採用・昇格等を行っているか。	■ 行っている
			2-3-②(4)		(4) 非常勤教員の採用基準等を定めているか。	■ 定めている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準2

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準2 教育組織及び教員・教育支援者等						
2-4 教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。						
		2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				■ 満たしていると判断する
		2-4-①(1)		(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を実施する体制を整備しているか。		■ 整備している
		2-4-①(2)		(2) 定期的にFDを実施しているか。		■ 実施している
		2-4-①(3)		(3) (2)のFDを実施した結果が、改善に結びついているか。		■ 結びついている
		2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				■ 満たしていると判断する
		2-4-②(1)		(1) 教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）を法令に従い適切に配置しているか。		■ 配置している
		2-4-②(2)		(2) 図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置しているか。		■ 配置している
		2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				■ 満たしていると判断する
		2-4-③(1)		(1) 教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っているか。		■ 行っている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準3

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準3 学習環境及び学生支援等						
3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。 また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。						
3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		3-1-①(1)			(1) 校地面積を法令に従い適切に確保しているか。	■ 確保している
		3-1-①(2)			(2) 校舎面積を法令に従い適切に確保しているか。	■ 確保している
		3-1-①(3)			(3) 運動場を設けているか。	■ 校舎と同一の敷地内又はその隣接地に設けている
		3-1-①(4)			(4) 高等専門学校の校舎に専用の施設を法令に従い適切に備えているか。	■ 備えている
		3-1-①(5)			(5) 学科の種類に応じ、附属施設を法令に従い適切に整備しているか。（複数チェック■可）	■ 実験・実習工場 □ 練習船 □ その他
		3-1-①(6)			(6) 自主的学習スペースを設けているか。	■ 設けている
		3-1-①(7)			(7) 教育研究環境の充実を図るため、(3)～(6)以外の施設・設備を設けているか。（複数チェック■可）	■ 厚生施設 ■ コミュニケーションスペース □ その他
		3-1-①(8)			(8) 施設・設備の安全衛生管理体制を整備しているか。	■ 整備している
		3-1-①(9)			(9) (8)の体制が有効に機能しているか。	■ 機能している
		3-1-①(10)			(10) 施設・設備のバリアフリー化への配慮を行っているか。	■ 行っている
		3-1-①(11)			(11) 整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	■ 整備している
		3-1-①(12)			(12) (11)の体制において、教育・生活環境の利用状況や満足度等を把握し、改善等を実際に行っているか。	■ 行っている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準3

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準3 学習環境及び学生支援等						
3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。 また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。						
3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		3-1-②(1)			(1) 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境を適切に整備しているか。	■ 整備している
		3-1-②(2)			(2) ICT環境のセキュリティ管理体制を適切に整備しているか。	■ 整備している
		3-1-②(3)			(3) ICT環境は有効に活用されているか。	■ 活用されている
		3-1-②(4)			(4) (3)について学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	■ 整備している
		3-1-②(5)			(5) (4)の体制が機能しているか。	■ 機能している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準3

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準3 学習環境及び学生支援等						
3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。 また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。						
3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		3-1-③(1)		(1) 図書館の設備を法令に従い備えているか。		■ 備えている
		3-1-③(2)		(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集、整理しているか。		■ 系統的に収集、整理している
		3-1-③(3)		(3) (2)の資料は、教職員や学生に有効に活用されているか。		■ 活用されている
		3-1-③(4)		(4) (2)の資料が有効に活用されるための取組を行っているか。		■ 行っている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準3

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準3 学習環境及び学生支援等						
3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。 また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。						
観点3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		3-2-①(1)			(1) 教育を実施する上でのガイダンスをどのような対象に対して実施しているか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 学科生 <input checked="" type="checkbox"/> 専攻科生 <input checked="" type="checkbox"/> 編入学生 <input checked="" type="checkbox"/> 留学生 <input checked="" type="checkbox"/> 障害のある学生 <input type="checkbox"/> 社会人学生 <input type="checkbox"/> その他
3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。 （下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		3-2-②(1)			(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制を整備しているか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の整備 <input type="checkbox"/> オフィスアワーの整備 <input checked="" type="checkbox"/> 対面型の相談受付体制の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 電子メールによる相談受付体制の整備 <input checked="" type="checkbox"/> ICTを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備 <input checked="" type="checkbox"/> 資格試験・検定試験等の支援体制の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 外国への留学に関する支援体制の整備 <input type="checkbox"/> その他
		3-2-②(2)			(2) (1)は、学生に利用されているか。	■ 利用されている
		3-2-②(3)			(3) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の導入 <input type="checkbox"/> 学生との懇談会 <input type="checkbox"/> 意見投書箱 <input checked="" type="checkbox"/> その他
		3-2-②(4)			(4) (3)は、有効に機能しているか。	■ 機能している
3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。 （下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		3-2-③(1)			(1) 留学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備している
		3-2-③(2)			(2) (1)の体制において、留学生の支援を必要に応じて行っているか。	■ 行っている
		3-2-③(3)			(3) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備している
		3-2-③(4)			(4) (3)の体制において、編入学生の支援を必要に応じて行っているか。	■ 行っている
		3-2-③(5)			(5) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備していない
		3-2-③(6)			(6) (5)の体制において、社会人学生の支援を必要に応じて行っているか。	■ 行っていない
		3-2-③(7)			(7) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備している
		3-2-③(8)			(8) (7)の体制において、障害のある学生の支援を必要に応じて行っているか。	■ 行っている
		3-2-③(9)			(9) 障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条（第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。）に対応しているか。	■ 対応している
		3-2-③(10)			(10) 上記以外の特別な支援を行っているか。	■ 行っていない

3-2-④ 学生の生活や経済面に係る指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			(リストから選択してください)
3-2-④(1)		(1) 学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の体制に関し、どのように整備しているか。(複数チェック■可)	<input type="checkbox"/> 学生相談室 <input type="checkbox"/> 保健センター <input type="checkbox"/> 相談員やカウンセラーの配置 <input type="checkbox"/> ハラスメント等の相談体制 <input type="checkbox"/> 学生に対する相談の案内等 <input type="checkbox"/> 奨学金 <input type="checkbox"/> 授業料減免 <input type="checkbox"/> 待待生 <input type="checkbox"/> 緊急時の貸与等の制度 <input type="checkbox"/> いじめの防止・早期発見・対処等の体制 <input type="checkbox"/> その他
3-2-④(2)		(2) 健康診断及び健康相談・保健指導を定期的に行っているか。	<input type="checkbox"/> 実施している
3-2-④(3)		(3) (2)以外で、(1)の体制に基づいた学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の活動が実際に学生に利用されているか。	<input type="checkbox"/> 利用されている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 3

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 3	学習環境及び学生支援等					
	3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。 また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。					
	3-2-⑤ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）					
		3-2-⑤(1)			(1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制を整備しているか。	■ 満たしていると判断する ■ 整備している
		3-2-⑤(2)			(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、学校としてどのような取組を行っているか。（複数チェック■可）	■ キャリア教育に関する研修会・講演会の実施 <input type="checkbox"/> 進路指導用マニュアルの作成 ■ 進路指導ガイダンスの実施 ■ 進路指導室 ■ 進路先（企業）訪問 ■ 進学・就職に関する説明会 ■ 資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談 ■ 資格取得による単位修得の認定 ■ 外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等 <input type="checkbox"/> その他
		3-2-⑤(3)			(3) (2)の取組が機能しているか。	■ 機能している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 3

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄		
基準 3	学習環境及び学生支援等							
	3-2	教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。 また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。						
		3-2-⑥	学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)					■ 満たしていると判断する
		3-2-⑥(1)	(1) 学生の課外活動に対する支援体制を整備しているか。					■ 整備している
		3-2-⑥(2)	(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっているか。					■ なっている
		3-2-⑥(3)	(3) 学校としての支援活動の内容からみて、(1)の体制が機能しているか。					■ 機能している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準3

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準3 学習環境及び学生支援等						
3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。 また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。						
3-2-⑦ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の間として有効に機能しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
			3-2-⑦(1)		(1) 学生寮を整備しているか。	■ 満たしていると判断する ■ 整備している
			3-2-⑦(2)		(2) 生活の間として整備しているか。	■ 整備している
			3-2-⑦(3)		(3) 勉学の間として整備しているか。	■ 整備している
			3-2-⑦(4)		(4) (2)(3)について、有効に機能しているか。	■ 機能している
			3-2-⑦(5)		(5) 管理・運営体制を整備しているか。	■ 整備している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準4

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準4 財務基盤及び管理運営						
4-1 学校の目的を達成するために、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しており、活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、履行されていること。 また、学校の財務に係る監査等が適正に実施されていること。						
4-1-① 学校の目的に沿った教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		4-1-①(1)			(1) 過去5年間の貸借対照表等による財務状態は適切な状況となっているか。	■ なっている
		4-1-①(2)			(2) 校地、校舎等の資産を保有しているか。	■ 保有している
		4-1-①(3)			(3) 過去5年間に於いて運営費交付金、授業料、入学金、検定料等の経常的な収入を確保しているか。	■ 確保している
		4-1-①(4)			(4) 過去5年間の収支状況において支出超過となっていないか。	■ 支出超過となっていない
4-1-② 学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		4-1-②(1)			(1) 収支に係る方針、計画等を策定しているか。	■ 策定している
		4-1-②(2)			(2) (1)を関係者（教職員等）へ明示しているか。	■ 明示している
4-1-③ 学校の目的を達成するため、教育研究活動（必要な施設・設備の整備を含む）に対する資源配分を、学校として適切に行う体制を整備し、行っているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		4-1-③(1)			(1) 学校の目的を達成するために、教育研究活動に対して適切な資源配分を決定する際、明確なプロセスに基づいて行っているか。	■ 行っている
		4-1-③(2)			(2) 資源配分が、4-1-②の収支に係る方針、計画と整合性を有しているか。	■ 整合性がある
		4-1-③(3)			(3) 資源配分の内容について、関係者（教職員等）に明示しているか。	■ 明示している
4-1-④ 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。また、財務に係る監査等が適正に行われているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		4-1-④(1)			(1) 設置者は、法令等に基づき、財務諸表等を作成・公表しているか。	■ 作成・公表している
		4-1-④(2)			(2) 財務に係る監査等を実施しているか。	■ 実施している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準4

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準4	財務基盤及び管理運営					
	4-2	学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。				
		4-2-①	管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）			■ 満たしていると判断する
		4-2-①(1)		(1) 管理運営体制に関する規程等を整備しているか。	■ 整備している	
		4-2-①(2)		(2) 委員会等の体制を整備しているか	■ 整備している	
		4-2-①(3)		(3) 校長、主事等の役割分担が明確になっているか。	■ なっている	
		4-2-①(4)		(4) 事務組織の体制を規程等に基づき整備しているか。	■ 整備している	
		4-2-①(5)		(5) 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保しているか。	■ 確保している	
		4-2-①(6)		(6) (1)～(5)の体制の下、効果的な活動を行っているか。	■ 行っている	
		4-2-②	危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）			■ 満たしていると判断する
		4-2-②(1)		(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備しているか。	■ 整備している	
		4-2-②(2)		(2) 危機管理マニュアル等を整備しているか。	■ 整備している	
		4-2-②(3)		(3) (1)(2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動を行っているか。	■ 行っている	
		4-2-③	外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）			■ 満たしていると判断する
		4-2-③(1)		(1) 外部の財務資源（科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等）を積極的に受入れる取組を行っているか。	■ 行っている	
		4-2-③(2)		(2) 公的研究費を適正に管理するシステムが整備されているか。	■ 整備されている	
		4-2-④	外部の教育資源を積極的に活用しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）			■ 満たしていると判断する
		4-2-④(1)		(1) 外部の教育・研究資源を活用しているか。	■ 活用している	
		4-2-⑤	管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組（スタッフ・ディベロップメント）が組織的に行われているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）			■ 満たしていると判断する
		4-2-⑤(1)		(1) S D等を実施しているか。		

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準4

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準4 財務基盤及び管理運営						
4-3 学校の教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。						
		4-3-① 学校における教育研究活動等の状況についての情報（学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項を含む。）が公表されているか。 （下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				(リストから選択してください)
		4-3-①(1)	(1) 教育情報を法令に従い適切に公表しているか。（複数チェック■可）			<ul style="list-style-type: none"> ■ 高等専門学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の2第1項の規定により定める方針 ■ 教育研究上の基本組織 ■ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績 ■ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況 ■ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画 ■ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 ■ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境 ■ 授業料、入学科料その他の高等専門学校が徴収する費用 ■ 高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準5

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準5 準学士課程の教育課程・教育方法						
5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。						
		5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)				■ 満たしていると判断する
		5-1-①(1)	(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。			■ 配置している
		5-1-①(2)	(2) 一般教育の充実に配慮しているか。			■ 配慮している
		5-1-①(3)	(3) 進級に関する規程を整備しているか。			■ 整備している
		5-1-①(4)	(4) 1年間の授業を行う期間を定期試験等の期間を含め、35週確保しているか。			■ 確保している
		5-1-①(5)	(5) 特別活動を90単位時間以上実施しているか。			■ 実施している
		5-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)				■ 満たしていると判断する
		5-1-②(1)	(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。 (複数チェック■可)			<input type="checkbox"/> 他学科の授業科目の履修を認定 <input type="checkbox"/> インターンシップによる単位認定 <input type="checkbox"/> 専攻科課程教育との連携 <input type="checkbox"/> 外国語の基礎能力（聞く、話す、読む、書く）の育成 <input type="checkbox"/> 資格取得に関する教育 <input type="checkbox"/> 他の高等教育機関との単位互換制度 <input type="checkbox"/> 個別の授業科目内での工夫 <input type="checkbox"/> 最先端の技術に関する教育 <input type="checkbox"/> その他
		5-1-②(2)	(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。			■ 適切に取り扱っている
		観点5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)				■ 満たしていると判断する
		5-1-③(1)	(1) 創造力を育む教育方法の工夫を行っているか。			■ 行っている
		5-1-③(2)	(2) 実践力を育む教育方法の工夫を行っているか。			■ 行っている

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 5

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 5 準学士課程の教育課程・教育方法						
5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。						
5-2-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		5-2-①(1)			(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	■ 採用されている
		5-2-①(2)			(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。（複数チェック■可）	<input type="checkbox"/> 教材の工夫 <input type="checkbox"/> 少人数教育 <input type="checkbox"/> 対話・討論型授業 <input type="checkbox"/> フィールド型授業 <input checked="" type="checkbox"/> 情報機器の活用 <input type="checkbox"/> 基礎学力不足の学生に対する配慮 <input type="checkbox"/> 一般科目と専門科目との連携 <input checked="" type="checkbox"/> その他
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		5-2-②(1)			(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成しているか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 授業科目名 <input checked="" type="checkbox"/> 単位数 <input checked="" type="checkbox"/> 授業形態 <input checked="" type="checkbox"/> 対象学年 <input checked="" type="checkbox"/> 担当教員名 <input checked="" type="checkbox"/> 教育目標等との関係 <input checked="" type="checkbox"/> 達成目標 <input checked="" type="checkbox"/> 教育方法 <input checked="" type="checkbox"/> 教育内容（1授業時間ごとに記載） <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価方法・基準 <input checked="" type="checkbox"/> 事前に行う準備学習 <input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校設置基準第17条第3項の規定に基づく授業科目か、4項の規定に基づく授業科目かの区別の明示 <input checked="" type="checkbox"/> 教科書・参考文献 <input type="checkbox"/> その他
		5-2-②(2)			(2) 教員及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っているか。	■ 改善を行っている
		5-2-②(3)			(3) 設置基準第17条第3項の30単位時間授業では1単位当たり30時間を確保しているか。	■ 確保している
		5-2-②(4)			(4) (3)の30単位時間授業では、1単位時間を50分としているか。	■ 1単位時間=50分で規定・運用
		5-2-②(5)			(5) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合には、授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示しているか。	■ 明示している
		5-2-②(6)			(6) (5)の履修時間の実質化のための対策としてどのような方策を講じているか。（複数チェック■可）	<input checked="" type="checkbox"/> 授業外学習の必要性の周知 <input type="checkbox"/> 事前学習の徹底 <input type="checkbox"/> 事後展開学習の徹底 <input type="checkbox"/> 授業外学習の時間の把握 <input type="checkbox"/> その他

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準5

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準5	準学士課程の教育課程・教育方法					
	5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。					
			5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）			■ 満たしていると判断する
		5-3-①(1)			(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、策定しているか。	■ 策定している
		5-3-①(2)			(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	■ 行っている
		5-3-①(3)			(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。	■ 把握している
		5-3-①(4)			(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	■ 周知している
		5-3-①(5)			(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している
		5-3-①(6)			(6) 定期試験以外の試験（追試、再試、追認試験等）の成績評価方法を定めているか。	■ 定めている
		5-3-①(7)			(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	■ ある
		5-3-①(8)			(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。（複数チェック■可）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成績評価の妥当性の事後チェック ■ 答案の返却 <input type="checkbox"/> 模範解答や採点基準の提示 <input type="checkbox"/> 複数年次にわたり同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック <input type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック ■ その他(GPAの進級判定への利用、成績分布のガイドラインの設定等)
		5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）			■ 満たしていると判断する	
		5-3-②(1)			(1) 学則等に、修業年限を5年（商船に関する学科は5年6月。）と定めているか。	■ 定めている
		5-3-②(2)			(2) 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、卒業認定基準を定めているか。	■ 定めている
		5-3-②(3)			(3) 卒業認定基準に基づき、卒業認定しているか。	■ 認定している
		5-3-②(4)			(4) 卒業認定基準を学生に周知しているか。	■ 周知している
		5-3-②(5)			(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 6

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 6 準学士課程の学生の受入れ						
6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。						
		観点 6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			■ 満たしていると判断する	
	6-1-①(1)		(1) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等。）、面接内容、配点・出題方針等。）となっているか。			■ なっている
		6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			■ 満たしていると判断する	
	6-1-②(1)		(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。			■ 整備している
	6-1-②(2)		(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿っているかどうかの検証を行っているか。			■ 行っている
	6-1-②(3)		(3) (2)の検証の結果を入学者選抜の改善に役立てているか。			■ 改善に役立てている
		6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			■ 満たしていると判断する	
	6-1-③(1)		(1) 学生定員を学科ごとに1学級当たり40人を標準として、学則で定めているか。			■ 定めている
	6-1-③(2)		(2) 学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。			■ 整備している
	6-1-③(3)		(3) 過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。			■ 適正である
	6-1-③(4)		(4) 過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。			■ 過去5年間で大幅に超過、大幅に不足していないので、該当しない

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準7

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準7 準学士課程の学習・教育の成果						
7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。						
7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		7-1-①(1)	1	(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 整備している	
		7-1-①(2)	2	(2) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。	■ 把握・評価している	
		7-1-①(3)	3	(3) (2)の結果から学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	
7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		7-1-②(1)		(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 整備している	
		7-1-②(2)		(2) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
		7-1-②(3)		(3) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生（卒業後5年程度経った者）に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
		7-1-②(4)		(4) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
		7-1-②(5)		(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	
観点7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						■ 満たしていると判断する
		7-1-③(1)		(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	
		7-1-③(2)		(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各学科の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	■ なっている	

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 8

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 8 専攻科課程の教育活動の状況						
8-1 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。 また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。						
8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						
		8-1-①(1)			(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	■ 配置している
8-1-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						
		8-1-②(1)			(1) 専攻科の教育課程は、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮しているか。	■ 考慮している
8-1-③ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						
		8-1-③(1)			(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	■ 採用されている
		8-1-③(2)			(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。(複数チェック■可)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教材の工夫 ■ 少人数教育 ■ 対話・討論型授業 ■ フィールド型授業 ■ 情報機器の活用 (リストから選択してください)
8-1-④ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						
		8-1-④(1)			(1) 学生への教養教育や研究指導を、適切に行っているか。	■ 行っている
8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)						
		8-1-⑤(1)			(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、策定しているか。	■ 策定している
		8-1-⑤(2)			(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	■ 行っている
		8-1-⑤(3)			(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。	■ 把握している
		8-1-⑤(4)			(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	■ 周知している
		8-1-⑤(5)			(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している
		8-1-⑤(6)			(6) 定期試験以外の試験（追試、再試、追認試験等）の成績評価方法を定めているか。	■ 定めている
		8-1-⑤(7)			(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	■ ある
		8-1-⑤(8)			(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。(複数チェック■可)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 成績評価の妥当性の事後チェック ■ 答案の返却 ■ 模範解答や採点基準の提示 <input type="checkbox"/> 複数年次にわたり同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック <input type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック <input type="checkbox"/> その他(GPAの進級判定への利用、成績分布のガイドラインの設定等)

8-1-⑥ 修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			■ 満たしていると判断する
8-1-⑥ (1)		(1) 学則等に、修業年限を1年以上と定めているか。	■ 定めている
8-1-⑥ (2)		(2) 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、修了認定基準を定めているか。	■ 定めている
8-1-⑥ (3)		(3) 修了認定基準に基づき、修了認定しているか。	■ 認定している
8-1-⑥ (4)		(4) 修了認定基準を学生に周知しているか。	■ 周知している
8-1-⑥ (5)		(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 8

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 8 専攻科課程の教育活動の状況						
8-2 専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。						
			8-2-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			■ 満たしていると判断する
		8-2-①(1)			(1) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等。）、面接内容、配点・出題方針等）となっているか。	■ なっている
			8-2-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。(下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			■ 満たしていると判断する
		8-2-②(1)			(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。	■ 整備している
		8-2-②(2)			(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿っているかどうかの検証を行っているか。	■ 行っている
		8-2-②(3)			(3) (2)の検証の結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	■ 改善に役立てている
			8-2-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。 (下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。)			■ 満たしていると判断する
		8-2-③(1)			(1) 学生定員を専攻ごとに学則等で定めているか。	■ 定めている
		8-2-③(2)			(2) 専攻ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。	■ 整備している
		8-2-③(3)			(3) 過去5年間の専攻ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。	■ 適正である
		8-2-③(4)			(4) 過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。	■ 過去5年間で大幅に超過、大幅に不足していないので、該当しない

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準 8

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準 8 専攻科課程の教育活動の状況						
8-3 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。						
8-3-① 成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		8-3-①(1)			(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 満たしていると判断する
		8-3-①(2)			(2) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価しているか。	■ 整備している
		8-3-①(3)			(3) (2)の結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	■ 把握・評価している
						■ 認められる
8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		8-3-②(1)			(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて、学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 満たしていると判断する
		8-3-②(2)			(2) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	■ 整備している
		8-3-②(3)			(3) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生（修了直後でない者）に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている
		8-3-②(4)			(4) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている
		8-3-②(5)			(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	■ 認められる
8-3-③ 就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		8-3-③(1)			(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	■ 満たしていると判断する
		8-3-③(2)			(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各専攻の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	■ 認められる
						■ なっている
8-3-④ 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						
		8-3-④(1)			(1) 過去5年間の修了生の学位取得の状況から、学習等の成果が認められるか。	■ 満たしていると判断する
						■ 認められる

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準9

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準9 研究活動の状況						
9-1 高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。						
9-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		9-1-① (1)	1	(1) 研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。		■ 定めている
9-1-② 研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		9-1-② (1)		(1) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための実施体制を整備しているか。		■ 整備している
		9-1-② (2)		(2) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための設備等を含む研究体制を整備しているか。		■ 整備している
		9-1-② (3)		(3) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための支援体制を整備しているか。		■ 整備している
		9-1-② (4)		(4) (1)～(3)の体制の下、研究活動が十分に行われているか。		■ 行われている
9-1-③ 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		9-1-③ (1)		(1) 学校が設定した研究活動の目的等に照らして、成果が得られているか。		■ 得られている
9-1-④ 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）						■ 満たしていると判断する
		9-1-④ (1)		(1) 観点9-1-③で把握した成果を基に問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。		■ 整備している

熊本高等専門学校自己点検評価チェックリスト

基準10

基準	評価の視点	観点	項目	熊本高専 整理番号	自己点検・評価欄（該当する欄をリストから選んでチェック■）	チェック欄
基準10 地域貢献活動等の状況						
10-1 高等専門学校の地域貢献活動等に関する目的等に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、活動の成果が認められていること。						
		10-1-① 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				■ 満たしていると判断する
		10-1-①(1)	1	(1) 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。		■ 定めている
		10-1-② 地域貢献活動等の目的等に照らして、活動が計画的に実施されているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				■ 満たしていると判断する
		10-1-②(1)		(1) 学校が設定した地域貢献活動等について、具体的な方針を策定しているか。		■ 策定していない
		10-1-②(2)		(2) (1)の方針に基づき計画的に実施しているか。		■ 実施している
		10-1-③ 地域貢献活動等の実績や活動参加者等の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				■ 満たしていると判断する
		10-1-③(1)		(1) 学校が設定した地域貢献活動等の目的等に照らして、成果が認められるか。		■ 認められる
		10-1-④ 地域貢献活動等に関する問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。（下記の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。）				■ 満たしていると判断する
		10-1-④(1)		(1) 観点10-1-③で把握した成果を基に問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。		■ 整備している

熊本高等専門学校自己点検評価及び外部評価実施要項

令和4年3月31日制定

令和4年11月25日一部改正

(趣旨)

第1条 この要項は、熊本高等専門学校学則第1条の2第2項に基づき、熊本高等専門学校（以下「本校」という。）が自ら行う点検及び評価（以下「自己点検評価」という。）及び外部評価の実施に関して、必要な事項を定める。

(自己点検評価の実施)

第2条 本校の自己点検評価は、次の各号により実施するものとする。

- (1) 別紙1の「熊本高等専門学校組織図（自己点検評価のPDC Aサイクル図）」に基づき、毎年、各種委員会が別紙2の「教育システム点検改善シート」を作成することとし、自己点検評価委員会（以下「委員会」という。）は、必要に応じ本校の運営組織（以下「運営組織」という。）に自己点検と改善を依頼し、その改善結果について報告を求めものとする。
- (2) 委員会は、運営組織の協力を得て、5から7年ごとに、別表に掲げる「評価項目及び評価基準」（以下「基準」という。）に基づき、本校が行う教育研究活動等の目的への達成状況及び成果等を勘案した上で、基準ごとに設けた観点に係る現状分析及び整理を行うことにより実施する。

(自己点検評価の評語)

第3条 前条第2号の自己点検評価は、達成度に応じて、次の評語により評価を行う。

評語	評 価
A	基準を満たしている。
B	ほぼ基準を満たしている。
C	基準を満たしているが、更なる改善が望ましい。
D	基準を満たしていないので、改善を要する。

(自己点検評価結果の報告)

第4条 委員会委員長（以下「委員長」という。）は、第2条第2号により実施した結果に基づき自己点検評価報告書を作成し、企画運営会議に報告するものとする。

(外部評価の実施)

第5条 本校の外部評価は、別紙1の「熊本高等専門学校組織図（自己点検評価のPDC Aサイクル図）」に基づき、校長が、熊本高等専門学校運営諮問会議規則第3条に定める事項を運営諮問会議に報告し、運営諮問会議は、自己点検評価報告書、ヒアリング等により評価及び検証を行うものとする。

(外部評価結果の報告)

第6条 運営諮問会議は、評価及び検証の結果を校長に報告し必要な提言を行うものとする。

(外部評価結果の改善)

第7条 校長は、前条の報告に基づき、委員会に改善の検討を行うように指示する。

2 委員会は、前条の報告内容を協議し、改善が必要と認めた事項について事項に定める対応区分を決定し、関係する運営組織に改善策の作成を付託するとともに、これに基づいた改善を指示するものとする。

3 前項の対応区分は、次のとおりとする。

評語	評 価
A	改善に向けた対応を実施している。
B	改善に向けた対応を、直ちに行う必要がある。
C	改善に向けた対応を、将来的に行う必要がある。
D	改善に向けた対応には、十分な検討が必要である。

4 第2項により改善策の作成の付託及びこれに基づいた改善の指示を受けた運営組織は、改善策及び改善結果を委員会に提出しなければならない。

5 委員会は、前項の改善策及び改善結果の取りまとめを行うとともに、基準に対する第3条の達成度を再度評価し、事項に定める対応区分を決定し、運営諮問会議に報告するものとする。

(改善策及び改善結果の公表)

第8条 委員長は、前条第5項により行った報告を社会に公表するものとする。

(基準等の見直し)

第9条 第2条第2号に定める基準は、本校の目的、目標、方針等及び点検評価の目的を踏まえ、一貫性を保ちつつ時代の要請等を鑑み、必要に応じて見直すものとする。

(雑則)

第10条 この要項に定めるもののほか、自己点検評価等に関し必要な事項は、別に定める。

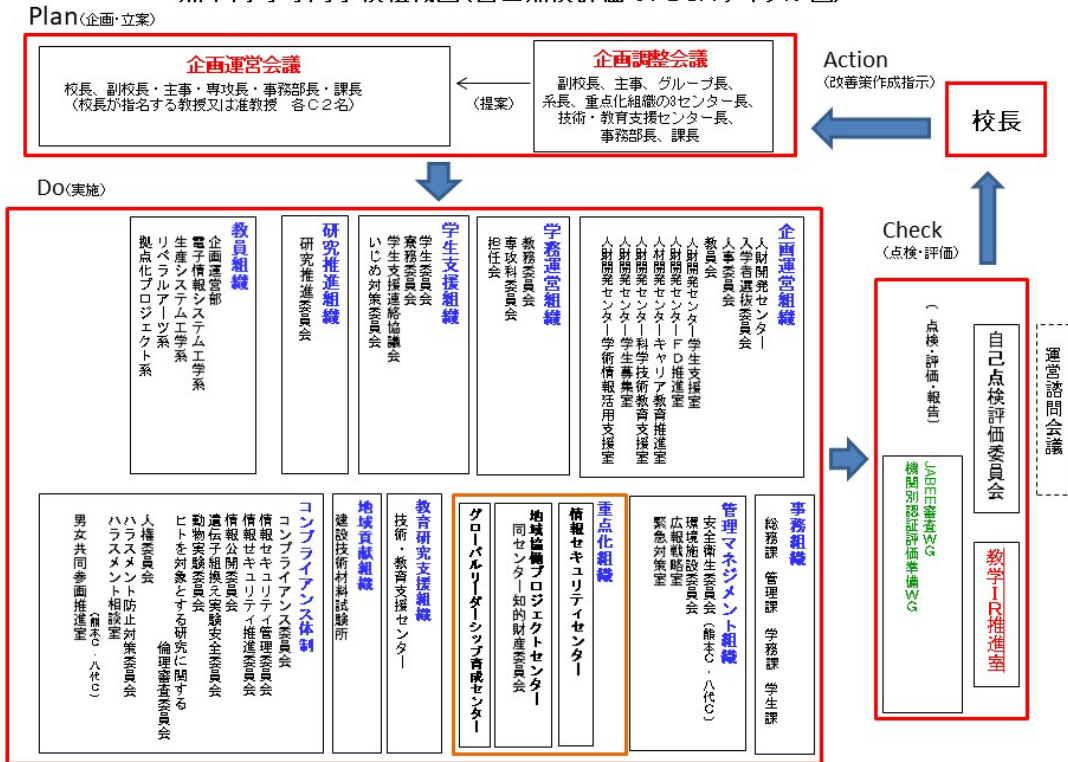
附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年11月25日から施行し、令和4年10月13日から適用する。

熊本高等専門学校組織図(自己点検評価のPDCAサイクル図)



別紙2

年度 教育システム点検改善シート

昨年度の「要改善事項」、年間の活動状況（主たるもので、年度末までに実施予定を含む）及び現状についての点検結果並びに次年度以降の改善すべき事項及び計画について御記入ください。（必要な場合は適宜枠を広げるなどして御使用ください）

提出期限： 月 日 提出先：総務課

（なお、提出後において、翌年度の要改善事項や計画に変更がある場合は、修正版を5月末までに御提出ください）

記入部署： _____

記入責任者 役職・氏名： _____

記入年月日： _____ 年 ____ 月 ____ 日

(1) 昨年度の「要改善事項及び計画」

※昨年度のシートに記載されている「(3) 次年度以降の要改善事項および計画」をコピーしてください。

--

(2) 1年間の活動状況（主たるもの）及び現状についての点検結果

※上記(1)に対する取組と改善結果も記入してください。

--

(3) 次年度以降の要改善事項及び計画

--

(4) その他（補足事項などありましたら御記入ください）

別表

熊本高等専門学校自己点検・評価基準

評価項目	評価基準	観点
1. 教育の質保証システム	(1) 教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み（以下「内部質保証システム」という。）が整備され、機能していること。	①教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。
		②内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。
		③学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。
		④自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。
	(2) 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。	（準学士課程）
		①準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。
		②準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。
		③準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。
		（専攻科課程）
		④専攻科課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。
	⑤専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合	

		性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。
		⑥専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。
	(3) 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。	①学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。
2. 教育組織及び教員・教育支援者等	(1) 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。	①学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。
		②専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。
		③教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。
	(2) 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。	①学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。
		②学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。
		③学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。
	(3) 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。	①全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。
		②教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。
	(4) 教員の教育能力の向	①授業の内容及び方法の改善を図るための組織

	<p>上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。</p>	<p>的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。</p> <p>②学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。</p> <p>③教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。</p>
<p>3. 学習環境及び学生支援等</p>	<p>(1) 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。</p>	<p>①学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p> <p>②教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。</p> <p>③図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。</p>
	<p>(2) 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。</p>	<p>①履修等に関するガイダンスを実施しているか。</p> <p>②学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p> <p>③特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。</p> <p>④学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p> <p>⑤就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。</p> <p>⑥学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の</p>

		課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。
		⑦学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。
4. 財務基盤及び管理運営	(1) 学校の目的を達成するために、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しており、活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、履行されていること。また、学校の財務に係る監査等が適正に実施されていること。	①学校の目的に沿った教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しているか。
		②学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。
		③学校の目的を達成するため、教育研究活動(必要な施設・設備の整備を含む)に対しての資源配分を、学校として適切に行う体制を整備し、行っているか。
		④学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。また、財務に係る監査等が適正に行われているか。
	(2) 学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。	①管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。
		②危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。
		③外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。
		④外部の教育資源を積極的に活用しているか。
		⑤管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組(スタッフ・ディベロップメント)が組織的に行われているか。
(3) 学校の教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。	①学校における教育研究活動等の状況についての情報(学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項を含む。)が公表されているか。	
5. 準学士課	(1) 準学士課程の教育課	①教育課程の編成及び実施に関する方針(カリ

程の教育課程・教育方法	程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。	キュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。
		②教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。
		③創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。
	(2) 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。	①教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。
		②教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。
	(3) 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。	①成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。
②卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。		
6. 準学士課程の学生の受入れ	(1) 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。	①入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。
		②入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。
		③実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大

		幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。
7. 準学士課程の学習・教育の成果	(1) 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。	<p>①成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p> <p>②達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p> <p>③就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p>
8. 専攻科課程の教育活動の状況	(1) 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。	<p>①教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。</p> <p>②準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。</p> <p>③教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。</p> <p>④教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。</p> <p>⑤成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。</p> <p>⑥修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定</p>

		され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。
	(2) 専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。	①入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。
		②入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。
		③実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。
	(3) 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。	①成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。
		②達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。
		③就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。
		④修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。
9. 研究活動の状況	(1) 本校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。	①研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。
		②研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。
		③研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。
		④研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。

10. 地域貢献活動等の状況	(1) 本校の地域貢献活動等に関する目的等に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、活動の成果が認められていること。	①地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。
		②地域貢献活動等の目的等に照らして、活動が計画的に実施されているか。
		③地域貢献活動等の実績や活動参加者等の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。
		④地域貢献活動等に関する問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。